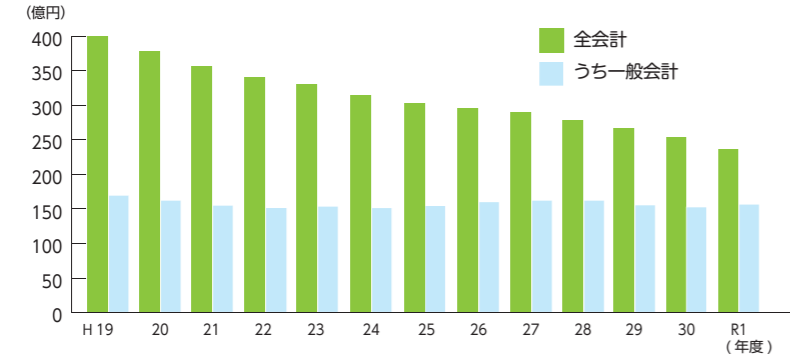


市債・債務負担行為の推移



令和元年度末 現在高一覧

項目	元金	利子	合計
<b>会計</b>			
地方債	221億8,041万円	10億1,819万円	231億9,860万円
一般会計	154億2,210万円	4億2,387万円	158億4,597万円
うち※臨時財政対策債	65億7,746万円	1億6,195万円	67億3,941万円
水道事業	25億1,709万円	2億9,038万円	28億7,747万円
公共下水道事業	42億4,122万円	3億394万円	45億4,516万円
<b>債務負担行為</b>			
一般会計	3,505万円	32万円	3,537万円
工業用地造成事業	12億2,867万円	1,561万円	12億4,428万円
<b>合計</b>	<b>234億4,413万円</b>	<b>10億3,412万円</b>	<b>244億7,825万円</b>

<b>実質赤字比率</b> (13.67%以上は財政が危ない) 一般会計に赤字がどの程度あるかを表します <b>該当なし</b>	<b>連結実績赤字比率</b> (18.67%以上は財政が危ない) 一般会計と特別会計・公営企業会計の全ての会計の赤字がどれくらいあるかを表します <b>該当なし</b>
<b>実質公債費比率</b> (25%以上は財政が危ない) 市の財政運営に影響する全ての会計の借入金の返済に充てた経費がどれくらいあるかを表します 昨年度より0.5%下がり改善 <b>7.1%</b>	<b>将来負担比率</b> (350%以上は財政が危ない) 市の財政運営に影響する全ての会計の借入金の返済、退職手当など将来に負担が見込まれる経費がどれくらいあるかを表します 昨年度より1.6%上昇 <b>59.9%</b>

※令和元年東日本台風災害復旧事業債(3億2,320万円)の増加により上昇

**市民1人当たり**  
**81万円**  
 前年度82万円

【令和元年度末残高】  
**市債残高** 231億9,860万円  
**債務負担行為残高** 12億7,965万円  
**244億7,825万円**  
 (前年度250億7,464万円)

※R2.3.31現在の住民基本台帳の人口で除して算出しました

<b>【分野4】 生活環境・都市基盤</b>	
本宮駅周辺東西アクセス整備事業	4億7,668万円
防災通信施設整備事業	2億958万円
もとみや定住促進事業	6,853万円
消防団活動事業	6,109万円
地域公共交通運行支援事業	4,284万円
<b>【分野5】 市民・行政活動</b>	
行政区支援事業	3,447万円
地域情報化格差解消事業	3,412万円
国際交流事業	2,352万円
広報もとみや発行事業	1,056万円
<b>令和元年東日本台風関連事業</b>	
災害廃棄物処理事業	2億7,397万円
道路橋りょう災害復旧事業	7,641万円
保育所災害復旧事業	6,545万円
市営住宅災害復旧事業	1,892万円
中央公民館災害復旧事業	1,423万円

## 令和元年度の主な事業

<b>【分野1】 子育て・教育</b>	
まゆみ保育所整備事業	3億8,611万円
子ども医療費助成事業	1億7,030万円
民間認可保育所・保育園運営支援事業	1億5,132万円
通園通学支援事業	3,749万円
<b>【分野2】 健康・医療・福祉</b>	
予防接種事業	7,787万円
重度心身障がい者医療給付事業	4,702万円
生活困窮者自立支援事業	2,166万円
高齢者生きがいデイサービス事業	2,002万円
健康診査事業	1,136万円
<b>【分野3】 経済・産業・仕事</b>	
県営ため池等整備事業	6,969万円
商工業経営金融支援事業	6,789万円
米づくりパワーアップ支援事業	2,105万円

## 本宮市の借金は？

— 計画を遵守し償還 —

左上図は合併以降の平成19年度からの借金（市債・債務負担行為の元利計）の推移を表したものです。

平成19年度に策定した本宮市自主的財政健全化計画に基づき、計画的な市債の発行と債務の償還により、平成19年度に399億円あった借金が、令和元年度に154億2,175万円減少し、244億7,825万円となりました。今後も計画を遵守し、適正な市債の発行、償還を行っていきます。

※地方交付税の代替措置である臨時財政対策債が、一般会計の市債のうち約4割を占めています

## 特集2 令和元年度決算報告

# 健全な財政運営を行いました

本宮市の令和元年度各会計の決算がまとめられました。皆さんから納めていただいた税金がどのように使われたのかをお知らせします。 問 財務部 財政課 ☎ 24-5305

## 一般会計

— 10億8,071万円の黒字決算 —

令和元年度一般会計の決算額は、歳入総額が198億5,980万円、歳出総額が174億1,836万円で、歳入から歳出を差引いた収支は24億4,144万円の黒字となりました。ここから令和2年度へ繰り越した事業の財源13億6,073万円を差し引いた実質収支額は、10億8,071万円となり、黒字決算となっています。

予算の執行に当たっては、本宮市自主的財政健全化計画を遵守し、限られた財源の重点的・効率的な配分を行い、健全な財政運営に努めてきました。

<b>歳入総額</b> 198億5,980万円		<b>歳出総額</b> 174億1,836万円	
<b>自主財源</b> 48.9%	繰入金・繰越金など 51億1,508万円 (25.8%)	歳入歳出差引額 24億4,144万円	
	市税 45億9,609万円 (23.1%)	民生費 44億2,089万円 (25.4%)	
<b>依存財源</b> 51.1%	国・県支出金 39億2,836万円 (19.8%)	総務費 24億3,471万円 (14.0%)	
	地方交付税 35億8,381万円 (18.0%)	農林水産業費 21億7,731万円 (12.5%)	
	市債 16億9,240万円 (8.5%)	土木費 18億8,818万円 (10.8%)	
	地方譲与税など 9億4,406万円 (4.8%)	教育費 16億6,836万円 (9.6%)	
		衛生費 15億5,297万円 (8.9%)	
		公債費 12億7,501万円 (7.3%)	
		議会費・労働費・商工費・消防費・災害復旧費 20億93万円 (11.5%)	

費目	費目の内容	1人当たりの金額
民生費	高齢者福祉、保育所運営、生活保護費など福祉のための経費	14万6,455円
総務費	一般管理費、徴税費、選挙費など市政を進めるために必要な経費	8万657円
農林水産業費	農業振興、林業振興などのための経費	7万2,130円
土木費	道路橋りょう、公園整備のための経費	6万2,552円
教育費	学校教育・社会教育のための経費	5万5,269円
衛生費	ごみ処理や生活環境を守るための経費	5万1,447円
公債費	市が借りているお金の返済のための経費	4万2,238円
その他(商工費・消費費など)	商工、観光振興や消防団運営、防災対策などのための経費	6万6,287円

市民1人当りに換算すると？  
**57万7,034円**

※一般会計の歳出総額をR2.3.31現在の住民基本台帳の人口(30,186人)で除して算出しました

基金名	令和元年度末残高
財政調整基金	14億6,551万円
教育施設等整備事業基金	5億2,207万円
地域福祉基金	3億3,903万円
市営住宅等管理基金	3億2,226万円
本宮駅東西自由通路等整備基金	9,867万円
五百川駅前広場等整備基金	5,003万円
震災・原子力災害復興基金	1,067万円
減債基金	204万円
その他特定目的基金	1億208万円
合計	29億1,236万円

災害や特定の事業などに向けた積立て

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	29億5,093万円	27億9,694万円
後期高齢者医療	2億9,303万円	2億8,331万円
介護保険	27億1,450万円	25億3,658万円
工業用地造成事業	5億9,459万円	5億9,458万円
工業用地資産運用事業	1億1,462万円	1億1,462万円

全ての会計で黒字決算

水道事業		下水道事業	
経常的な収支		経常的な収支	
収入	9億9,341万円	収入	8億1,860万円
支出	9億6,847万円	支出	7億4,976万円
投資的な収支		投資的な収支	
収入	6,602万円	収入	5億4,443万円
支出	6億2,896万円	支出	7億5,277万円

企業会計

※端数処理の都合上、内訳および合計数などに差異が生じる場合があります